

世界 LNG 動向 2023 年 10 月

橋本裕*

はじめに

2023 年第 1-3 四半期間、速報値によると、世界の LNG 輸入量は前年同期比 1%超増加の 2.95 億トンとなった。この期間中に日本の LNG 輸入は前年同期比 12%減の 4891 万トンだったが、中国は同 10%増の 5113 万トンを入力し、世界首位に復帰した。しかしこの中国の LNG 輸入量は 2021 年同期比で依然 12%低かった。欧州連合 (EU)・英国は同じ 2023 年の 9 ヶ月間で 8100 万トンを入力し、前年同期比 1%増となった。

北半球の冬季を控え、アジアのスポット LNG、欧州スポット天然ガス価格ともに、先物曲線は、1-2 月をピークとするコンタンゴ (先高) 傾向となっているが、それでも本年初に予想されていたよりも水準は低い。前年同期比較で、10 月末時点の直近月渡しの先物価格状況は、欧州の代表的指標 TTF が 2022 年 30 米ドル超から 2023 年 15 米ドル台相当、アジア LNG スポット価格は 30 米超ドルから 17 米ドル程度と大幅に下落した。

2023 年 10 月は、豪州の 2 件の LNG 輸出プロジェクトでの労使紛争が再燃し、供給中断可能性の懸念を生じた。再び労働問題監督機関 FWC が調停し、両者の話し合いは月末までに収束し、労使協定合意へと向かっている。イスラエルでは、紛争地域近くのガス田生産が停止し、翻ってエジプト向けのパイプラインガス輸出が停止、エジプトから少なくとも短期的に、LNG 輸出の見通しに影響を落としている。

同月、カタール QatarEnergy 社は、超巨大 LNG 拡張プロジェクトの欧州パートナー 3 社と、27 年間の LNG 販売契約を締結した。これにより、国際パートナー 7 社中、6 社が、同プロジェクトからの引き取りコミットメントを確定したこととなる。

インドネシアでは、Tangguh LNG 設備新規第 3 液化系列にて生産された最初のカーゴが、同国内市場向けに出荷された。

月内に、他の中東、アフリカ諸国でも LNG 生産プロジェクトに進展があった。

[アジア太平洋]

株式会社 INPEX と大阪ガス株式会社は、2023 年 10 月 24 日、CO₂-メタネーションシステムの世界最大級となる 400 Nm³-CO₂/h の試験設備の起工式を実施した。

韓国 KOMIPO (韓国中部発電会社) は、2023 年 10 月 11 日、2027-2041 年に DES (持

* 資源・燃料・エネルギー安全保障ユニット

ち届け ex-ship) 条件で 78 カargo引き渡しを求める LNG 購入入札を発行した。

韓国の三星重工 (SHI) は、2023 年 10 月 10 日の証券取引所提出書類の中で、新規 LNG 輸送船舶を 2.60 億米ドル程度で受注したことを明らかにした。2026 年 9 月に「アジア船主」に引き渡す、と述べた。

船級協会 DNV は、2023 年 10 月、Hanwha Ocean の 270,000 m³ 型 LNG 輸送船舶設計を原則承認 (AiP) した。

中国の国家统计局 (NBS) は、2023 年 10 月 18 日、自国が同年第 1-3 四半期、前年同期比 6.4%増の 170.4 bcm 天然ガスを生産したことを明らかにした。9 月の天然ガス生産は前年同月比 9.3%増の 17.9 bcm に達した。

中国の佛燃能源集团股份有限公司 (Foran Energy Group) は、2023 年 10 月 31 日、Cheniere Marketing LLC と、年間 86 万トン・2028 年から 20 年間、FOB (本船渡し) 条件の LNG 売買契約 (SPA) を締結する予定であると発表した。価格はヘンリーハブ指標連動となる。佛燃能源、Cheniere は、年間 30 万トン・2023 年 1 月から 20 年間の LNG SPA を有している。佛燃能源は同日、香港中华煤气液化天然气国际贸易有限公司 (Hong Kong & China Gas LNG International Trading Limited) と、年間 43 万トン・2028 年から 20 年間、後者に引き渡す LNG SPA を締結する予定であると発表した。

中国の国家统计局 (NBS) は、2023 年 10 月 18 日、自国が同年第 1-3 四半期、前年同期比 6.4%増の 170.4 bcm 天然ガスを生産したことを明らかにした。9 月の天然ガス生産は前年同月比 9.3%増の 17.9 bcm に達した。

S&P Global Commodity Insights は、2023 年 10 月 23 日、Platts が新規の日刊 Southeast Asia LNG (SEAM) カーゴアセスメントを開始したことを発表した。

シンガポール通商産業省 (MTI)、エネルギー市場当局 (EMA) は、2023 年 10 月 23 日、発電部門へのガス調達・供給を集中化する Gasco を設立することを発表した。この集中調達は、ガス契約更改を含め、発電部門の将来のガス需要全てを対象とする。発電企業はそれぞれのガス供給者との間で持つ既存ガス契約を継続することは認められる。他工業用ガス需要家は、ライセンスを受けたガス輸入者を通じてのガス調達を継続でき、集中調達枠組の対象とならない。EMA は Gasco を 2024 年に設立する意図で、今後数ヶ月間に集中ガス調達枠組の詳細に関して業界の意見聴取を行う。

シンガポール副首相が、2023 年 10 月 24 日、自国第 2 の LNG 基地開発に関する SLNG (Singapore LNG) 計画を発表した。SLNG は、同プロジェクト開発の承認を受けたことを確認した。SLNG は 2030 年までに稼働開始を目指す。SLNG は、浮体貯蔵・気化設備 (FSRU) 利用のオプションを検討している。

スイスに本拠を置く統合型欧州エネルギー企業 MET Group は、2023 年 10 月 4 日、シンガポールにオフィスを開設したことを発表した。

タイ EGAT (Electricity Generating Authority of Thailand) は、2023 年 10 月 3 日、同月より発電燃料コスト削減のため、年間 120 万トンの LNG を輸入する目標を設定したことを

発表した。EGAT は、2023 年 4 月 5 日のエネルギー規制委員会（ERC）決議に従い、競争的価格方式を用いて、年間 120 万トン、2023 - 2027 年について LNG の短期調達を開始した。この LNG は、EGAT の Bang Pakong 発電設備で使われることとなる。この最初の LNG カーゴは、2023 年 10 月 1 日、ラヨーン県 LNG Map Ta Phut Terminal 2（第 2 基地）に着積した。

ベトナム PetroVietnam は、2023 年 10 月 29 日、PV Gas 社が Thị Vải LNG 輸入基地を稼働開始したことを発表した。同基地は最初のカーゴを 7 月 10 日に受け入れた。同基地容量は当初年間 100 万トンから、2027 年までに 300 万トンに拡張する計画である。

マレーシア MISC 社は、2023 年 10 月 31 日、PETRONAS Gas Berhad（PGB）子会社 Pengerang LNG (Two) Sdn. Bhd.（PLNG2SB）との間で、ジョホール州 PETRONAS Pengerang（RGTP）基地への配置用として LNG 浮体貯蔵設備（FSU）供給・操業・メンテナンスの基本合意（HOA）を締結したことを発表した。MISC の LNG 輸送船舶 Puteri Delima Satu が本プロジェクト専用の FSU に改造される。2025 年第 2 四半期稼働予定。

ENI は、2023 年 10 月 2 日、インドネシア東カリマンタン沖 85 km の North Ganal PSC 鉱区で掘削された Geng North-1 探査井のガス資源の発見を発表した。発表によれば、この発見は、Kutei 地域北部に新たな生産ハブの創設につながり、東カリマンタン岸の Bontang LNG 設備に連結することが期待される。

ENI は、2023 年 10 月 26 日、Merakes LNG 売主連合と、2024 年 1 月から 3 年間で 0.8 bcm の LNG 売買契約を締結したことを発表した。2017 年以來の年間 1.4 bcm の Jangkrik LNG 売主連合との契約に上乘せとなる。Eni のエネルギートランジション戦略は、上流生産全体でのガスのシェアを 2030 年までに段階的に 60%まで増加することを目指し、同時に自社出資 LNG 増加を図る。Eni は契約 LNG 数量を 2026 年までに 2 倍以上の年間 1800 万トンとすることを目指す。

bp は、2023 年 10 月 19 日、インドネシア パプア州 Tangguh LNG 設備新規第 3 液化系列にて生産した LNG 最初のカーゴが、同国有発電企業 PT PLN (Persero) 向け引き渡しのため、積まれ出航したことを発表した。Tangguh LNG 設備拡張の完全稼働開始となる。これにより同設備容量は、年間 1140 万トンとなる。最初のカーゴは 10 月 18 日出航し、PLN のアチェ州 Arun 気化基地引き渡しに向かう。

Shell は、2023 年 10 月 18 日、子会社 Shell Upstream Overseas Services (I) Limited (SUOS) が、既に発表済みだったインドネシア Masela 生産分与契約（PSC）自社持分 35% の、インドネシア Pertamina および PETRONAS Masela への売却を完了したことを発表した。この売却には Abadi ガスプロジェクトを含む。INPEX が Masela PSC の 65%での操業権を持ち、Abadi ガスプロジェクトのオペレーターである。

パキスタン Pakistan LNG は、2023 年 10 月 4 日、最新の LNG 購入入札の最終評価報告を公表した。12 月 7-8 日、13-14 日分の 2 カーゴ DES 購入入札で、Vitol は 7-8 日分に 100 万 Btu 当たり 15.97 米ドル Trafigura は 18.39 米ドル、13-14 日分に 19.39 米ドルをオ

ファーした。

豪州連邦政府は、2023 年 10 月 3 日、「将来に向けたガス戦略」に関するディスカッションペーパーを公表、意見募集手続きを開始した。この戦略は 5 月予算にて、発表された。「世界の脱炭素化進展に伴い、ガスの役割は変化する - これは豪州のエネルギーミックスにおいても、通商相手のエネルギー利用においても同様」。この発表では、豪州を通商・投資のパートナーと複雑な形で結び付ける近代的なサプライチェーンにおいてガスは極めて重要 (essential) としている。エネルギートランジションを通じて、ガス供給よりも急速に需要が減少する必要がある。ガス不足、供給の中断、高価格は、需要よりも急速にガス供給を減少した結果である。この戦略は、業界、国際通商・投資パートナー、豪州一般市民から広く意見を受けることとなる。戦略としては、2024 年にまとめる予定としている。

南豪州エネルギーインフラストラクチャー開発企業 Venice Energy は、2023 年 10 月 27 日、自社と Origin Energy が、アデレード港湾に建設すべき Outer Harbor LNG 輸入基地の商業的実現性を支える構造的枠組に合意したと発表した。Origin は、10 年以上、同基地の単独利用者となり、延長オプションを付ける。Venice Energy は、同基地が再生可能エネルギーのみで運営する世界最初の例となる、としている。最初のガスは 2026 年 5 月までに輸送網に流れ込むことが期待される。

Origin Energy は、2023 年 10 月 10 日、連邦競争・消費者保護規制機関 (ACCC) が、Brookfield Asset Management および、EIG Partners 傘下の MidOcean Energy の連合による自社買収を承認したことを明らかにした。

豪 Santos は、2023 年 10 月 19 日、Moomba CCS プロジェクトは 75% 完成しており、2024 年半ばに注入開始予定と述べた。日量 0.25 トンの DAC (ダイレクトエアキャプチャ) 設備が、パースでの試験作業後、9 月に Moomba に到着した。

Chevron は、2023 年 10 月 30 日、Offshore Alliance 組合労働者と、Gorgon、Wheatstone LNG 設備の賃金・労働条件に関する労使協定が承認され、労働調停機関 FWC に承認のため送付される、と述べた。

Chevron Australia 社は、2023 年 10 月 31 日、過去 1 年間の所得税支払いの加速により、2009 年以降の税金・ロイヤリティ支払いが 120 億豪ドルを超えた、と述べた。Chevron Australia 法人税支払いは 2022 暦年、12 億豪ドルを超えた。2022 年 1 月 1 日から 12 月 31 日対象の所得税は 42 億豪ドルとなった。

豪 Woodside は、2023 年 10 月 18 日、Scarborough ・ Pluto Train 2 プロジェクトは同期間末時点で 46% 完了し、浮体生産設備 (FPU) Pluto Train 2 モジュール組み立てが進展している、と述べた。「Scarborough 沖合地震探査環境計画が無効との連邦裁判所の 9 月 28 日の判断は、2026 年第 1 の LNG カーゴとの当社目標に影響していない。しかしこの判断は、豪州の沖合事業承認プロセス改革の緊急性を際立たせている」。

Santos は、2023 年 10 月 19 日、Barossa プロジェクトは、Darwin パイプライン複線化プロジェクトを除き、68% 完了している、と述べた。掘削活動は、規制機関による環境計

画の審査・承認まで停止されている。10 月、Santos は海洋事業規制機関 NOPSEMA に、Barossa ガスプロジェクトのパイプ敷設作業を、同機関が発出した指針基準を満たした後に開始する計画であることを通知した。Santos は、10 月 31 日、環境団体 Environmental Defenders Office が Barossa ガスプロジェクトに関連するパイプライン敷設に関わる環境計画に対して提起している連邦法廷での訴訟に関して、自社の立場を主張することを明らかにした。

[北米]

米 EIA（連邦エネルギー情報局）は、2023 年 10 月 19 日、2022 年に米国の主要陸上原油生産地域（Permian, Bakken, Eagle Ford, Niobrara, Anadarko）において、主として原油生産の 8%増加を原因として、随伴天然ガス生産量が 9%増加し日量 15.5 bcf/d（日量 155 億立方フィート、LNG 換算年間 1.18 億トン相当）となったと述べた。随伴天然ガスは、米国総天然ガス生産量の 14%を占めた。

米テキサス州環境品質委員会（TCEQ）への 2023 年 10 月 21 日付 提出文書によると、Freeport LNG 設備は同日、前処理設備の支障のため、全 3 系列をいったん停止、その後再稼働した。TCEQ への 10 月 30 日付の提出書類によると、Freeport LNG 設備第 3 系列が朝早くトリップした。この事象は液化フレアシステムでの放散につながった。9 時間後に稼働復帰した。

Tellurian 社の Driftwood LNG は、2023 年 10 月 4 日、FERC に、Driftwood LNG プロジェクトの LNG 設備・Driftwood パイプラインの建設完了・業務開始期限を 36 ヶ月延長する申請を提出した。

NextDecade は、2023 年 10 月 6 日、Rio Grande LNG 輸出プロジェクトの起工式を挙行したことを発表した。

Baker Hughes は、2023 年 10 月 2 日、モジュラー化した LNG システム・電力供給アイランドを提供する契約を受注したことを発表した。同契約は、Venture Global LNG ・ Baker Hughes 間の、生産容量年間 1 億トン以上に向けた、包括機器供給契約の一環として発注された。

Venture Global LNG, Inc. は、2023 年 10 月 24 日、元本 40 億米ドルの優先債券売り出しを完了したことを発表した。

Shell は、2023 年 10 月 9 日、Energy Transfer を信頼性高いガス供給者として、同社による米国との自由貿易協定を持たない諸国への LNG 輸出の新ライセンス申請をサポートする書簡を、米連邦エネルギー省（DOE）に提出した。九州電力は、DOE 向け、2023 年 10 月 25 日付書簡で、Lake Charles LNG プロジェクトについて、輸出ライセンス承認を急ぐことを求めた。

FERC は、2023 年 10 月 4 日、Delfin LNG LLC 陸上プロジェクト部分に関して、2017 年承認指令で承認された陸上設備完成期限の 4 年間の延長申請を承認した。Delfin は建

設・業務開始までに、2027 年 9 月 28 日までの期限を有することとなる、と FERC は述べた。

米 Chesapeake Energy Corporation、Vitol Inc. は、2023 年 10 月 31 日、Chesapeake Energy Marketing L.L.C. との基本合意 (HOA) を発表した。Chesapeake は LNG 最大年間 100 万トン・15 年間 Vitol 向けに、価格は JKM 連動にて供給する。本 HOA 締結後、Chesapeake、Vitol は、Chesapeake が生産したガスを Vitol に引き渡すべく最適な米国液化設備を選定する。本 HOA は 2028 年開始を目標とする。

Exxon Mobil Corporation、Pioneer Natural Resources は、2023 年 10 月 11 日、ExxonMobil が Pioneer を買収する契約を発表した。Chevron Corporation は、10 月 23 日、Hess Corporation との間で、全株式取引により後者の発行済株式全て買い取る合意に達したことを発表した。

Chevron は、2023 年 10 月 10 日、Bridger Photonics と提携し、パイプラインその他インフラストラクチャーに沿ってメタン漏洩を検知するため、後者の航空機を用いることを発表した。Chevron は共同で得られる情報を、修繕の指針に使うことができる、と述べている。Chevron の作業は、Permian、DJ、さらに最近ではカリフォルニア州サンホアキン溪谷まで対象とするように拡大している、とのこと。

カナダ TC Energy は、2023 年 10 月 30 日、Coastal GasLink が経路全 670 km 区間敷設を完了したことを発表した。ブリティッシュコロンビア州北東部と西海岸 LNG Canada 設備を接続する。この作業は年末予定通りの機械設備完成に向け最後のステップとなる。

カナダ Ksi Lisims LNG は、2023 年 10 月 16 日、ブリティッシュコロンビア州政府に、環境アセスメント証明 (EAC) 申請を提出したと発表した。Ksi Lisims LNG は、カナダ史上最も重大な先住民支援の工業開発案件のひとつとなっている。Ksi Lisims LNG は年間 1200 万トンの LNG を生産することとなると述べている。

[中東]

Petrofac は、2023 年 10 月 3 日、アブダビ ADNOC Gas より、Habshan CCUS プロジェクトのエンジニアリング・調達・建設 (EPC) 契約を受注したことを発表した。

ADNOC、Occidental は、2023 年 10 月 3 日、米国外で初のメガトン級ダイレクトエアキャプチャー (DAC) 設備建設に向け共同初期エンジニアリングスタディを実施する合意を発表した。

ADNOC は、10 月 5 日、Hail、Ghasha 沖合開発プロジェクトに関して、最終投資決定 (FID) および 2 本のエンジニアリング・調達・建設 (EPC) 契約の発注を発表した。本プロジェクトは、ネットゼロ二酸化炭素 (CO₂) 排出で操業することを目指している。Hail、Ghasha はアブダビ Ghasha 鉱区に属し、同鉱区は 2020 年代中にガス日量 1.5 bscfd (年間 1139 万トン) 以上を生産する予定である。

ADNOC、Baker Hughes は、2023 年 10 月 4 日、ADNOC Gas が Baker Hughes にそ

の子会社 Nuovo Pignone International S.R.L. を通じて、アブダビ Al Ruwais 工業都市における Ruwais LNG プロジェクト向けに、クリーンエネルギーでの動力を天然ガス液化のために供給するオール電化圧縮システム 2 セットを供給する契約を発注したことを発表した。Ruwais LNG プロジェクトは、年間 480 万トンの天然ガス液化系列 2 本となる。

ADNOC Gas plc は、2023 年 10 月 18 日、JERA Global Markets との間で、5-7 億米ドル (18 - 25 億 UAE ディルハム) 相当の複数年 LNG 供給契約を締結したことを発表した。

韓国現代重工 (HHI) は、2023 年 10 月 26 日、証券市場規制機関への提出文書で、17 隻の LNG 輸送船舶建造を 39 億米ドルで受注したことを明らかにした。

カタール QatarEnergy は、2023 年 10 月 3 日、自国 LNG 生産容量を現在の年間 7700 万トンから、2026 年までに 1.26 億トンに引き上げる North Field 拡張プロジェクト起工式典が行われたことを発表した。

QatarEnergy は、2023 年 10 月 11 日、QatarEnergy ・ TotalEnergies 間で、カタールからフランスへの合計最大年間 350 万トンの LNG 引き渡しの 2 本の長期 LNG 売買契約 (SPAs) を締結したことを発表した。LNG は DES (持ち届け) 条件で、フランス南部 Fos Cavaou LNG 受入基地に、2026 年から 27 年間の引き渡しとなる。この LNG は、QatarEnergy ・ TotalEnergies がカタール North Field East (NFE) ・ North Field South (NFS) 両プロジェクトに権利を持つ 2 件の合弁事業から手当される。

QatarEnergy は、2023 年 10 月 18 日、QatarEnergy ・ Shell 間で、カタールからオランダ向けに、最大年間 350 万トンの 2 本の SPAs を締結したことを発表した。この LNG は Gate LNG 基地向けに、2026 年から 27 年間引き渡される。カタール North Field East (NFE)、North field South (NFS) 拡張プロジェクトに持分を有する両社間の 2 件の合弁事業より調達される。

QatarEnergy、イタリア Eni は、2023 年 10 月 23 日、両社間で、カタールからイタリア向け、2026 年から 27 年間の引き渡し見込みで、最大年間 100 万トンの長期 LNG 売買契約 (SPA) を締結したことを発表した。この LNG は、トスカナ地方ピオンビーノ港 FSRU Italia に、カタール North Field East (NFE) 拡張プロジェクトに参加する両社間の合弁事業より調達されることとなる。

Shell、三菱商事は 2023 年 10 月 23 - 24 日、オマーン Oman LNG LLC 事業の 2024 年以降延長に関する修正株主間協定を締結したことを発表した。Oman LNG は、2034 年までのガス供給確保のための諸協定を締結した。

[アフリカ]

欧州連合 (EU) ・アルジェリア間の、2023 年 10 月 5 日、エネルギーに関するハイレベル政治対話の中で、両者は、石油・ガス産業におけるメタン排出削減における協力を話し合い、大気に放出されるメタンの回収・商業化促進に協力することに合意した。

Golar LNG 社は、2023 年 10 月 16 日、FLNG Hilli Episeyo が 100 件目の LNG カーゴ

を 10 月 14 日に積み込んだことを発表した。Hilli は世界初の FLNG 改造で、2018 年にカメルーンを世界で 20 件目の LNG 輸出国とした。100 カargo目は MV Energy Integrity に積み込んだ。

Marathon Oil 社は、2023 年 10 月 16 日、赤道ギニア Alba フィールド（Marathon 64% 持分）から生産される自社分天然ガスの一部について、2024 年 1 月 1 日発効で、Glencore 社と 5 年間の LNG 販売契約を締結したことを発表した。価格設定は、オランダ TTF 指標から固定輸送料を差し引く。別途、LNG・メタノール間の裁定見通しより、Marathon Oil 社は、2024 年、Alba ユニットの天然ガスを、地元メタノール設備（Marathon 45%）から、LNG 設備（Marathon 56%）に振り替える最適化を行う見込み、と発表した。

Allseas 社は、2023 年 10 月 5 日、モーリタニア・セネガル沖の超大水深 Greater Tortue Ahmeyim（GTA）天然ガスプロジェクトの海底パイプライン完成業務に向け自社が bp から選定されたことを発表した。担当範囲は、水深 1,500 - 2,800 m でのガス田端接続点 (FTAs) での 16 インチ径払い出しパイプライン 2 本・約 75 km、水深 2,800 m での 10 インチ径 CRA ガス田内ライン 4 本の敷設を含む。

イタリア ENI は、2023 年 10 月 21 日、Tango FLNG（浮体液化設備）、Excalibur FSU（浮体貯蔵設備）が、ドバイからコンゴ沖に向け出港したことを発表した。Congo LNG プロジェクト第 1 段階は、2023 年 12 月稼働開始予定である。

2021 年 3 月にモザンビーク北部で発生したテロ攻撃の際に「虐殺と危険に曝されている人々を支援しなかった」として自社に対してなされた告発の提出を受け、2023 年 10 月 11 日、TotalEnergies はこれらの非難事項を否定、2,500 人以上（民間人、人員、請負業者、下請業者）を Afungi 現場から避難させるため、Mozambique LNG チームにより提供された緊急支援と、これらのチームが動員した資源に関して詳述した。2021 年以降、セキュリティ状況は改善し、テロ活動は減少した。現在現場での活動は、セキュリティインフラストラクチャー増強、アクセス道路の改善に限定されている。

[欧州・周辺地域]

欧州委員会は、2023 年 10 月 24 日、「欧州連合エネルギー年次報告」にて、天然ガス供給セキュリティが過去 1 年間に大きく改善し、EU は 2027 年までにロシア産化石燃料から自立するとの REPowerEU 目標を達成する軌道にあると述べた。

EU の第 3 回共同ガス購入は、2023 年 10 月 6 日（金）欧州委員会（EC）によると、供給者から合計 18.1 Bcm のオファーを集めた。第 1 回の 18.7 Bcm に近く、第 2 回の 15.2 Bcm から増加となった。EC は水素、その他原料も共同購入対象とすることを希望している。総計需要は欧州企業 39 社から提出された申請に基づき 16.5 Bcm だった。PRISMA が運営する共同購入プラットフォームは、需要 11.9 Bcm を供給者とマッチさせ、第 2 回（12 Bcm）、第 1 回（10.9 Bcm）と同水準となった。

TotalEnergies は、2023 年 10 月 26 日、ルアーブル港 Cape Ann FSRU（浮体貯蔵・気

化設備) コミッショニングを発表した。同基地はノルウェーからの LNG を用い、最初のガスを GRTgaz が操業するガスパイプライン網に送出した。TotalEnergies は同基地年間 5 bcm 容量の 50%を契約している。残り容量は規制機関が承認した規則に従い販売されることとなる。

TotalEnergies の、2023 年 10 月 26 日の説明によると、カタール QatarEnergy との年間 350 万トン SPA の 27 年間の期間について、North Field East、North Field South プロジェクトの参加パートナーはいずれも自社シェアを 27 年間引き取ることを要請された。ドイツ企業のみ、開発のパートナーでなく、15-20 年間を選択した。TotalEnergies によると、2026 年から 27 年間で 2053 年となるが、2050 年を大きく超えるものでない。TotalEnergies は 2050 年自社ポートフォリオにおいて、大量の LNG が必要とみている。この 27 年間は、権益期間と整合している。企業は 3 年間投資し、27 年間が残る。権益期間全体で 30 年間となる。両者の利益となれば、カタールの合意の基に、仕向変更ができるとしている。

Deutsche Energy Terminal 社は、2023 年 10 月 26 日、ドイツ Brunsbüttel、Wilhelmshaven 基地の短期気化容量最初の競売が完了したことを明らかにした。2024 年 4 - 12 月の 60 件の気化スロットの価格は、100 万 Btu 当たり 0.55 - 0.812 ユーロとなっている。

Deutsche ReGas の 2023 年 10 月 20 日の情報によると、同社は自国連邦政府とギリシャ船主企業間の傭船契約における権利・義務を引き継いだ。TRANSGAS POWER は、ムクランで計画される EnergieTerminal 'Deutsche Ostsee' 基地向けの気化船舶 (FSRUs) 2 隻中の 1 隻となる。

フィンランド Gasgrid Finland は、2023 年 10 月 10 日、エストニアとの間の Balticconnector ガスパイプラインのガス輸送を阻害した漏洩地点を検知したことを自国当局に報告した。フィンランド警察は、10 月 24 日、損傷は、船舶に属する錨により生じた可能性が高い、と述べた。

ウクライナ Naftogaz は、2023 年 10 月 24 日、欧州連合 (EU) 向けガス通過輸送に関するロシアとの現行契約を、2024 年満了予定以降、延長することはできない、と述べた。

ロシア Gazprom は、2023 年 10 月 19 日、自社と中国石油集団 (CNPC) が、東側経路ガス売買契約の、2023 年末までの中国向け追加数量に関する追加合意を締結したことを発表した。Gazprom はまた、「さらに東部の」経路ガスパイプラインが設計中であると述べた。

トルクメニスタン TurkmenGas は、2023 年 10 月 9 日、自社・イラク電力省間で天然ガス供給に関する覚書 (MOU) が締結されたことを発表した。イラク側は、年間 100 億 m³ (10 bcm) 購入する準備を整えることとなる。

[南米]

パナマ運河公社 (ACP) は、2023 年 10 月 30 日、渇水状況のため 1 日当たり航行数をさ

らに削減することを発表した。11月3-6日:25隻、7-30日:24隻、12月:22隻、2024年1月:20隻、2月1日以降当面18隻。

Crowley は、2023 年 10 月 24 日、パナマ運河太平洋側で、船舶間移送 (STS) 型 LNG バンカリング業務を、2024 年開始可能性を付して、パナマ運河当局による初の許可に基づき、計画を進めていることを発表した。

Excelerate Energy 社は、2023 年 10 月 17 日、自社とブラジル Petrobras 社が、浮体貯蔵・気化設備 (FSRU) Sequoia 備船について、10 年間の契約を締結したことを発表した。定期備船・業務契約で、2024 年 1 月 1 日開始となる。Excelerate は、Sequoia をブラジルのバイア州サルバドール Bahia 気化基地を中心に同国での気化業務に提供し続けることとなる。Sequoia に加え Excelerate 社の FSRU Experience が現在同国で気化業務を提供している。

参考資料: 各社発表, Cedigaz News Report.

お問い合わせ: report@tky.ieej.or.jp